



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

学校だより



ためし



令和7年10月10日号 文責 上久木田 雄二

お泊り会

- 水浸しの体のまま脱衣所の体重計に乗る。
- かかり湯をしないで、公衆浴場の湯船に入る。
- 泡だらけのシャワーブースを流さずその場を離れる。

以前も書きましたが、これらは私が通うスポーツクラブの浴室で時々見られる光景です。

公共施設の使い方は、発達段階に応じて家庭教育として指導されなければいけないと思います。大人になっても、上述のようなことが実際目撃される現実、改めて家庭教育の重要性を感じざるをえません。



子どもたちの口から「お泊り会」の話が聞こえてきます。

他人の飯を食う

経験は必要だと思っています。家族でない人からの指導を受け入れる体験は貴重だと思います。

この「他人」は、親しくない間柄のことを意味していることを意識しなくては いけません。



私の立場として、お泊り会を推奨することはできませんし、もちろん禁止することもできません。家庭教育の範疇だからです。

私の経験から、お泊り会において注意することを書いておきます。

- 食事のルール
- 入浴のルール
- 就寝のルール
- 遊びのルール
- 勉強のルール

が各家庭で違うということを、まず理解しなければいけません。

どんなに親しい間柄であっても、逐一同じルールであることは皆無です。すなわち、他人のルールで過ごすことになるということを受け入れなければいけません。これは、「良くも悪くも」です。最初は良くても、次第に息苦しさを感じることを自覚することとなります。私が外泊を推奨しない理由はここにあります。

それでもなお、お泊り会をするのであれば、我が家ルール（家訓）をしっかりとぶれないように身に付けさせることから始めるのが肝要だと思うのです。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

